

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨		答弁予定者
1	10番 山本 悟（一問一答）		
	1. 災害対策について		
	(1) 西川の治水について	西川熊田川改修促進期成同盟会のこれまでの事業の進捗状況と、西川流域の住民の安全安心を守るために今すぐ取りかかる事業として何があるのかを問う。	市長
	(2) 土木技術職・建築技術職の採用状況について	直近10年間の土木技術職と建築技術職の採用状況に対する分析を問う。	総務部長
	(3) 職員採用のPRについて	職員採用サイトを更に充実し、良い人材の確保に努めるべきと考えるが市の見解を問う。	総務部長
	2. 学校施設長寿命化計画について		
	(1) 浜小学校の老朽化の現状について	築後半世紀以上経過した浜小学校の老朽化、損傷の状況を問う。	教育委員会 管理局长
	(2) 学校施設長寿命化計画の実施について	市内小中学校の中で一番古い浜小学校の改築を優先すべきと考えるが、市の見解を問う。	教育長
	(3) 浜小学校の改築について	改築のコンセプトとして、隣接する根上中学校との連携を視野に入れた構想を考えるべきと思うが、市の見解を問う。	教育長

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨		答弁予定者	
2	7番 卯野修三(一問一答)			
	1. 人口減少問題について			
	(1)	能美創生人口ビジョンの目標達成について	新型コロナウイルス感染症など諸課題が発生しているが、能美創生人口ビジョンの目標達成のために諸施策をどのように進めていくのか。	市長
	(2)	子ども支援策について	子ども支援策に力を入れることで人口が増加している先進事例の都市を参考に、どのようにして、子ども支援策を具体的に推進していくのか。	健康福祉部長
	(3)	市内の企業の福利厚生を発信せよ	企業の担当者間で福利厚生の情報交換ができる場を創出し、UIJターン者向けに福利厚生が充実した市内の企業を発信することで、移住定住につながり、さらに少子化対策にもつながると考えるが、見解を問う。	産業交流部長
	2. 中学校の休日部活動の地域移行について			
	(1)	地域移行の目的・成果、1年半経過した3つの部活動の検証について	休日部活動の地域移行についての目的・成果、及び1年半経過した3つの部活動の検証、並びに教員の働き方改革につながったかを問う。	教育長
	(2)	地域指導者への教育と部活参加者への支援、及び今後の財源確保の展望	地域指導者への教育と部活参加者への支援、及び本格的に本事業が始まる令和5年度の予算を含め、今後の財源確保の展望を問う。	教育委員会 管理局长
	(3)	担当する2つの課を一つの組織に	担当するスポーツ振興課と学校教育課を包括した運動部活動の地域移行を推進するための組織が必要であると考えが見解を問う。	教育委員会 管理局长

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨		答弁予定者	
3	1番 中野廣志(一問一答)			
	1. 行財政改革について			
	(1)	マイナンバーカードのICチップの活用について	マイナンバーカードのICチップを活用して能美市独自の利用方法で、カードの普及・カードの利用促進・行政の効率化を図れ。	企画振興部長
	(2)	地方債の活用で公共施設の適正管理を	地方債を活用し、公共施設の適正管理を行うことで行政サービスの更なる質の向上を図るべきと考えるが、見解を問う。	総務部長
	(3)	定年引上げ制度の対応について	能美市消防本部においては、65歳への延長で体力の衰えなど現場における影響が危惧される。この定年引上げ制度に対して、どのような計画で対応し業務を行うのか問う。	市長
	(4)	定年引上げ制度及び改正地方公務員育児休業法の施行後の人員管理について	能美市消防本部においては、各制度の施行後も市民への安全安心の提供は必須である。若手職員の取得が想定される育児制度を鑑み、適正な人員管理について問う。	消防長
	2. 救急車の増車にかかる効果について			
	(1)	救急車を4台保有する理由は	人口5万人の能美市での救急車4台の台数は、近隣の消防本部の救急車の保有台数より割合的に高い。近隣消防と比較すると救急車1台あたりの出動件数割合が低い、4台保有する理由を問う。	消防長
	(2)	救急車4台体制の効果について	救急車4台体制にて救急業務を行っている中で、具体的な運用方法、また市民サービスとしてどのような効果が表れているのか。	消防長

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨		答弁予定者
4	14番 東 正 幸（一問一答）		
	1. 8月豪雨による中山間地域の農業被害について		
	(1)	危機管理体制について 今回の記録的な大雨による国造地域への危機管理体制、緊急対策をどう講じたのか。	市長
	(2)	農業への被害状況について 国造地域の農業への被害について、被害を受けた主な町会と被害面積、農地や農業施設等の被害状況を問う。	産業交流部長
	(3)	猪侵入防止柵について(1) 猪侵入防止柵の被害状況及び、その復旧対応と新たな電気柵設置に関する今後の対応を問う。	産業交流部長
	(4)	猪侵入防止柵について(2) 新たな設置箇所があるとしたら、柵の高さについて柔軟な対応を取ることができないか。また、柵の設置について、町会からは地元負担があることから積極的な要望がしづらいと聞いているが、行政への設置要望の実態を問う。	産業交流部長
	(5)	被害農家・農地等の現状について 被害現場の復旧にむけた現在の進捗状況と被害農家を取り巻く厳しい現状の認識についての見解を問う。	産業交流部長
(6)	被害農家等への対策・支援・援助について 被害農家に対しての精神的な不安解消に対する支援についての見解と、早急な原形復旧にむけた市としての対策や国・県の支援・助成等の具体的な取組を問う。	市長	

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨		答弁予定者
	13番 南山修一（一問一答）		
	1. 8月4日豪雨に伴う中山間地域の将来について		
5	(1)	被災者に対する支援策の周知について 今後講じられる支援策の周知方法を問う。	総務部長
	(2)	中山間地域コミュニティの維持について 被災した中山間地域のコミュニティ維持のビジョンを問う。	市長

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨			答弁予定者
6	3番 中村純子（一問一答）			
	1. 生活環境問題について			
	(1)	生ごみの減量化・資源化について	SDGsを推進する視点から、「生ごみ処理機及びコンポスト」購入に対する助成制度を今一度検討すべきと考えるが見解を問う。	市民生活部長
	(2)	一人暮らし高齢者等の粗大ごみ対応について	一人暮らし高齢者や運転免許証を返納した高齢者世帯、障害のある方等は、自力で粗大ごみを処分するには厳しい面がある。負担軽減を図る対策を検討すべきと考えるが見解を問う。	市民生活部長
	(3)	住居の荒廃(いわゆる「ごみ屋敷」)の対応について	景観の悪化や悪臭等により著しく周辺に影響を与える「住居の荒廃(いわゆる「ごみ屋敷」)」について、条例制定の可能性も含め、その対応について問う。	市長
	2. 教育問題について			
(1)	文化部活動の地域移行について	文化部活動も運動部活動と同様に地域移行を進めていく必要がある。文化部活動の地域移行については、本市の文化の土壌を見極め、段階的に着実に進めていくべきと考えるが市の見解を問う。	教育長	

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨		答弁予定者	
7	5番 今尾 晃 司（一問一答）			
	1. 動物の愛護及び管理について			
	(1)	動物の愛護及び管理の現状について	令和4年4月1日「石川県動物の愛護及び管理に関する条例」が施行された。能美市の取組の現状と、これまで市民から寄せられた、動物の愛護及び管理に関連した主な相談、苦情内容を問う。	市民生活部長
	(2)	市民への「地域猫活動」TNRの普及啓発について	動物愛護の対象となる動物は様々であるが、石川県内でも注目され始めている、野良猫を地域で見守る「地域猫活動」TNRを普及啓発してはどうか。	市民生活部長
	(3)	野良猫問題を解決するための「地域猫活動」TNRへの支援について	湯谷町町会は野良猫問題を解決するため、「地域猫活動」TNRに取り組んでいる。野良猫問題はどの町でも起こることが考えられる。本定例会で提出されている新規事業「動物愛護(猫)補助事業」の目的と内容、能美市全体への効果、事業に込められた思いを問う。	市長
	2. 地域公共交通について			
	(1)	地域公共交通協議会の事業について	地域の公共交通においては、地域住民の公共交通ニーズの把握が重要であると考え。どのようなプロセスでニーズを把握するのかを問う。	企画振興部長
(2)	のみバスの利便性向上について	市内移動手段の主力であるのみバスについて、見直しのための進捗、および隣接自治体への乗り入れについて見解を問う。	企画振興部長	

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨		答弁予定者	
8	9番 仙台謙三(一問一答)			
	1. 西川の治水対策について			
	(1)	西川の整備スケジュールを早めるよう、関係機関に要望せよ	西川の整備スケジュールについて、現段階ではどのように定まっているか。また、一日も早く、拡幅と堤防のかさ上げ整備が完了するよう、関係機関へ要望せよ。	市長
	(2)	西川からの越水対策について	9月1日に上程・可決された補正予算に盛り込まれた、西川の越水対策について、具体的な工期を問う。着工時期と、完成時期を示せ。	土木部長
	2. 産業団地「福島グランパーク」の貯水機能について			
	(1)	福島グランパークの貯水機能を問う	福島グランパークにおける貯水機能の整備について、当初の計画はどのようなものであるか。また、今般の豪雨を含めた気象状況の変化を踏まえ、貯水機能・調整池の整備については、再検討を行う必要があるのではないか。市の見解を問う。	産業交流部長
	3. 内水氾濫対策について			
	(1)	調整池の新設・改良について	調整池に隣接する家屋などに被害をもたらさない施策として、調整池や貯水設備を新設・改良する事が必要であると考えるが見解を問う。	土木部長
	(2)	家屋への浸水対策を行え	家屋への浸水対策として、宅地の嵩上げを行う、家屋の基礎を高くする、家屋を防水性の塀で囲む、または防水性の外壁で建物への浸水を防ぐなどの対策が佐賀県では検討されている。必要な施策を講ずる必要があるが、市の見解を問う。	土木部長
	4. 災害時の情報発信と注意喚起について			
	(1)	災害情報の伝達について	必要不可欠な災害情報は、迅速に市民へ発信をされたか。また、耳からの情報入手が困難な方への案内については、どのように取り組んだか。防災行政無線が整備をされ、新しい防災情報伝達システムの展開が待たれる。令和3年第2回定例会において、整備が完了したものから順次の稼働をと質問を行ったが、いつからの稼働となるのか。	総務部長
	(2)	水害時の道路通行に関する注意喚起を問う	冠水の恐れがあり、車の通行などに支障が発生する場合、コーンを設置したり、通行禁止や迂回を促す看板を設置するなどの必要があると考える。設置主体はどこか。また、コーンや看板は、どこに保管しておく事が望ましいか。	土木部長

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨		答弁予定者	
9	6番 山下 毅（一問一答）			
	1. 適正な公共調達の実施について			
	(1)	最低制限価格を下回る入札の案件数及び内容について	過去3年間の入札において、最低制限価格を下回る応札及び同額により、くじ引きで落札者を決定した案件数及び内容を具体的に問う。	副市長
	(2)	変動型最低制限価格制度について	変動型最低制限価格制度を導入していた時期、導入及び廃止に至った経緯と本制度の評価について問う。	副市長
	(3)	変動型最低制限価格制度を導入せよ	本市において、変動型最低制限価格制度を導入すべきと考えるが、見解を問う。	副市長
	2. 根上南部地区砂丘地農業の農振農用地の見直しについて			
	(1)	合併以降の能美市全域の農振農用地面積について	合併以降の能美市全域の農振農用地面積の推移及び面積の減少要因について問う。	産業交流部長
	(2)	砂丘地農業の現状と今後の展望と対策について	高坂・根上町及び道林町地内の農振農用地である砂丘地農業の現状をどのように捉えているのか。また、今後の展望と対策について、見解を問う。	市長
	(3)	根上南部地区砂丘地農業の農振農用地の見直しについて	根上南部地区砂丘地農業の農振農用地の見直しを行い、地域の実情に即した土地の有効活用を図るべきと考えるが、見解を問う。	産業交流部長
	(4)	土地利用の効率的な運用を図るためにも、農地転用許可の権限移譲を受けよ	市の自立した判断により、土地利用の効率的な運用を図るためにも、農地転用許可の権限移譲を受けよと考えるが、見解を問う。	産業交流部長

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨		答弁予定者	
10	4番 澤田 貞（一問一答）			
	1. 大雨被災について			
	(1)	八丁川・宮竹用水の溢水対応について	能美市管理でない宮竹用水と八丁川が佐野地内で水害をもたらしたことについて、抜本的な改善策を問う。	産業交流部長
	(2)	被災者への支援について	被災者に寄り添った応急復旧に掛かる大幅な支援と、更なる復興施策を問う。	総務部長
	(3)	災害発生時の初動体制について	今回の大雨被災を教訓に、災害初動時の防災士をはじめとした専門家の行動体制と、ネットワークの再構築について問う。	総務部長
	2. 新型コロナウイルス感染症について			
	(1)	新型コロナウイルスの流行「第七波」について	これからの寒い季節には更にコロナ感染が増加すると思われるが、市民への喚起と感染症対策の更なる強化策を問う。	健康福祉部長
	3. 湯野保育園民営化について			
	(1)	湯野保育園の民営化について	能美市立湯野保育園の民営化について、市執行部で検討された内容を問う。	市長
	(2)	民営化に向けたスケジュールについて	保育施設整備について、現地建替え又は移転なのかも含めた、建設に向けたスケジュールについて問う。	健康福祉部長

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨			答弁予定者
1 1	8番 北村周士(一問一答)			
	1. “子どもの権利条例”について			
	(1)	子どもの権利を擁護する現状の取組は	子どもの権利という点について、人権擁護委員の活動を通じた取組を問う。	市民生活部長
	(2)	青少年健全育成の観点からの取組は	子どもの権利の点から、青少年健全育成という観点、また、学校教育を通じた権利の保護、いじめや不登校に対する取組を問う。	教育委員会 管理局长
	(3)	子ども、子育て分野における福祉の取組は	子ども、子育てという福祉の点から、虐待やネグレクトなど、子どもの権利を著しく害している社会問題に対する取組を問う。	健康福祉部長
	(4)	子どもの権利条例制定へ向けてどのように考えるか	市として、子どもの権利を守るための理念として条例を制定する考えはあるか。	健康福祉部長
	2. 保育施設の老朽化対策と幼保連携型認定こども園の推進について			
	(1)	幼保連携型認定こども園として整備された福島こども園の評価を問う	福島こども園を利用されている保護者からのアンケートの内容等を踏まえた、認定こども園の民営化についての評価を問う。	健康福祉部長
	(2)	今後の認定こども園の民営化に対する姿勢を問う	さらなる民営化について方向性を示したが、保育施設の民営化に対する姿勢、思いを問う。	市長
	(3)	公立認定こども園の必要性の認識を問う	民営化と公立園の維持は、自治体にとってバランスを取りながら行っていくべき重要なテーマである。公立の認定こども園の必要性について、どのように考えるか。	健康福祉部長

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨		答弁予定者
15番 近藤啓子（一問一答）			
1. 水害対策について			
(1)	被災者の救済支援について	甚大な自然災害に対し、あらゆる支援制度の周知と活用を行うとともに、上下水道料金の減免などを行うべきではないか。	市長
(2)	被災者生活再建支援制度について	県独自の「被災者生活再建支援制度」を創設するよう求めるとともに、市としても検討すべきではないか。	健康福祉部長
(3)	手取川流域治水計画について	熊田川と西川の合流地点での「ひ門」設置と西川の河川改修の早期完成を要請すべきではないか。また、手取川大橋付近における堤防のかさ上げ整備計画の早期推進を求めるべきではないか。	土木部長
(4)	福祉避難所の設置について	在宅で療養されている方の避難場所の開設が必要である。「ケアマネさんが対応する」だけではかなわない状況もある。今回のような災害時には福祉避難所を開設すべきではないか。開設基準があるのか伺う。	健康福祉部長
2. 新型コロナウイルス感染対策について			
12	(1) 市として発生状況を把握すべきではないか	現在は県と保健所しか、新型コロナ感染の実態を知ることができない。家庭内感染拡大やクラスターの発生など市としての把握は市民の命と健康を守るうえでも必要なことであり、県との協議を急ぐべきではないか。	健康福祉部長
(2)	コロナ感染相談窓口開設について	家庭での療養者も多くいる。近所や知人の協力で何とか切り抜けている状況だが、不安な点や支援の必要な方もおり、市として相談窓口を開設し支援すべきではないか。	健康福祉部長
(3)	コロナ感染者の災害避難策について	今回のような災害時に、感染者の避難先も明らかではない。コロナ禍における感染者の避難場所と対応を確立すべきではないか。	健康福祉部長
3. 統一協会問題について			
(1)	この組織が反社会的・カルト集団の認識があるか	組織の名称は変更しているが、霊感商法による被害も後を絶っていない。反社会的・カルト集団の認識はあるか。	総務部長
(2)	テレビ局のアンケートへの対応はどうか	能美市へもアンケートがあったと思われるが、返答されたのか。市または市長としての関わりがあったのかどうか伺う。	市長室長
(3)	調査と公表をすべきでないか	市や外郭団体において、寄付や祝電などかわりがあったかどうか調査し、公表すべきではないか。今後一切関係を持つべきではないかと考えるがどうか。	市長室長

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨			答弁予定者
13	2番 荒井昌宏（一問一答）			
	1. 市内宅地造成・宅地開発について			
	(1)	宅地造成・宅地開発における雨水排水対策について	今後予定している市の宅地造成及び民間の宅地開発において、どのような雨水排水対策を施すのか、民間への指導も含め方針を問う。	市長
	2. 空き地環境保全の促進について			
(1)	空き地の雑草対策について	空き地の雑草に関する相談には、どのように対応されているのか。	市民生活部長	